

原 著

岡山県自然保護センターの種子植物

岡山県自然保護センター 楠原良三

岡山県自然保護センター 西本 孝

SEED PLANTS IN THE OKAYAMA PREFECTURAL NATURE CONSERVATION CENTER

Ryozou KUSUHARA, *Okayama Prefectural Nature Conservation Center*

Takashi NISHIMOTO, *Okayama Prefectural Nature Conservation Center*

Abstract

The Okayama Prefectural Nature Conservation Center was established in 1991 in an area which had previously been affected heavily by human influences, including cutting of trees, removing of plants and herbs, and cultivation. This paper reports the findings from an investigation of flora of seed plants in the area carried out over 2 years from 1993 to 1994. Results showed there to be 678 species in the area, 505 species present before the center was founded, and 170 planted in the area later. 3 species were found to have immigrated into the area and 47 species were naturalized. It was found that by conserving this area, 40 rare species of flora grow vibrantly and due to the various habitats, the flora are rich in number.

キーワード：岡山県自然保護センター、貴重種、種子植物、植物相。

はじめに

岡山県自然保護センターは、平成3年の11月に開設された施設である。100ヘクタールの敷地は池を中心にした斜面を含む一つの集水域から成り立っている。ここには水田があり、アカマツ林があり、古くからの里山的な管理が行われてきた地域であった。自然保護の啓発や自然環境の研究を目的として利用されることが決まってからのセンターは、これまでの利用形態とは違い、観察のための施設が作られ、多くの人たちが訪れるようになった。

自然保護センターの生物相を明らかにすることを目的に平成5、6年度の2ヶ年にわたり行われた調査は、開設当初の生物相を把握し、今後の推移を知る上で重要な資料となる。この報告は種子植物について行われた調査の結果をまとめたものである。

調査方法

センター内をくまなく歩き回り、生育している植物の種類を記録し、主な植物を採取し標本作製した。

なお、植物名については和名、学名とも大井(1983)にしたがった。一部帰化植物については長田(1984)、イネ科植物については長田(1993)にしたがった。

また、確認できた植物の中から注目すべき種について記録した。注目すべき種とは、「わが国における保護上重要な植物種の現状」(いわゆるレッドデータブック；自然保護協会、1989)や貴重な個体植物一覧(岡山県、1975)、および岡山県自生植物目録(大久保、1989)にしたがって、分布上重要な種類をとりあげ、一般的な特徴やセンターでの生育状況について解説した。また、帰化植物は、岡山県自生植物目録(大久保、1989)に

帰化植物として記録されているものにしたがった。

結果と考察

野外調査の結果生育が確認された植物のリストを作成した(付表)。なお、植物のリストでは、自生種と移植したものを区分し、センター開設後に導入された植物には◎印をつけた。なお、開設以前に植栽されたと思われる植物があるが、確認できないこともあって印はつけなかった。自生しているものでもさらに植栽されたものもある。これらは自生していることを重視して印はつけなかった。また、植栽した苗についていた土から芽生えるなどの植栽に伴って生育するようになったと思われる植物もあるが、別の経路で侵入してきた可能性もあり、確認できないので印をつけていない。

植栽された植物は、在来の植物と区別して定着などの動向を見守る必要がある。

特に、絶滅が危惧されるような貴重植物についてはできる限り適地に移植して、保護に努めている。こうした植物のうち定着が確認されたものについては記録した。

1. センターの植物相の特徴

センターで確認できた種子植物の種類は113科678種類であった(表1)。このうち、センター

開設後に移植したものは170種で、開設後に侵入してきたと思われる3種(セイヨウタンポポ、ヒメオドリコソウ、ツクシスズメノカタビラ)を除いて、開設以前からあったと考えられるものは505種である。

帰化植物はこのうち47種で、植栽した種類を除く植物508種に占める帰化植物の割合(帰化率)は9.3%である。帰化植物の侵入には注意を払って観察しているが、セイヨウタンポポやヒメオドリコソウのように開設後に人の出入りが頻繁になり侵入してきたと考えられるものもある。以前からあった可能性も捨てきりないが、開設後侵入してきたと思われる。

センターは敷地のほとんどがアカマツ林で覆われ、谷部では永年水田耕作がなされたところである。アカマツ林以外にはコナラ林、スギやヒノキの植林、竹林などがある。また、山すそには小さな湿原があったり、池の周辺には浅瀬がある。たんぼのまわりでは畦や草地があり、草刈りなどの人の管理がなされている。里山を創り出している多様な環境が見られたことから、センターの種子植物相は、県中部の里山に普通に見られる植物が多く見られるという特徴を示していた。

ヒサカキ、ソヨゴなどによって構成されているアカマツ林はセンターの敷地の大部分を占めているが、林内には125種類の植物が生育していた。

表1. センターの種子植物の種類数

種子植物	裸子植物	4科	6種
	被子植物	113科	672種
	単子葉類	20科	198種
	双子葉類	93科	474種
	離弁花類	61科	292種
	合弁花類	28科	182種
		113科	678種

表2. センターの種子植物の移植数とそのうち貴重な種類及び帰化率

	種数	貴重種	帰化植物	帰化率
元からあった種	505種	10種	45種	—
開設後侵入したと思われる種	3種		2種	—
小計	508種	10種	47種	9.3%
移植した種	170種	30種	0	—
合計	678種	40種		

一方斜面下部で発達しているコナラなどが優占する夏緑林にはアベマキ、シシガシラ、アラカシなどアカマツ林よりも多くの植物が生育していた。上池の水辺にはショウブ、カワヤナギなどの植物が生育し、狭い面積ではあるが自然にできた湿原には、コイヌノハナヒゲ、カキラン、サワギキョウなどの湿原特有の植物が生育していた。しかし、サギソウなどの絶滅危惧種は生育していなかった。

また、水田周辺などでは農作業に入った人たちによって持ち込まれたり、風で種子が運ばれたりしたと考えられる帰化植物が45種生育していた(表2)。さらにセンターの造成によって持ち込まれた土砂、植栽木についていた土などからは、セイヨウタンポポ、ヒメオドリコソウの帰化植物2種が芽生えてきて生育地を拡大している。九州から持ち込まれたシイやカシの常緑樹の苗についてきた土中から、九州にしか見られないツクシズメノカタビラが生育しているのが発見された。

センター開設後、絶滅に瀕した植物を導入することを目的として湿原や池など水辺環境を整備している。また、水田跡地を里山として管理するな

ど、それぞれの植物が適した場所で生育し増殖できるように試みている。

建設前にみられたタヌキマメ、ミヤマシキミなど数種を除いてみられなかった注目すべき貴重な植物は、建設後に保護を目的として移入した多くのものが定着して増殖するようになっている。

樹木の植栽も随時行い、県中部の環境に適した植物を植えている。植物を導入した結果、現在定着が確認された種類は170種にのぼっている。

このようにセンターの種子植物相は、開設前の多様な里山の環境を反映して多様な種類がみられると同時に、開設後に湿原や池を造成したり里山の管理をしたり、植栽や移植などによって様々な種類を導入したことによって、多くの種が生育していることが明らかになった。

2. 注目すべき植物

(1) 貴重種の選定基準

センターで確認できた種子植物の内、貴重な種類についてまとめ、簡単な解説をつけた。リストには●印をつけている。なお、貴重な植物の選定

表3. センターで確認できた貴重種

	開設前から生育している種類		開設後に移植した種類	
	種数	種名	種数	種名
絶滅危惧種	0		1	オグラセンノウ
危急種	2	コガマ, コバノヒルムシロ	14	ヤマトミクリ, ナガエミクリ, ミクリ, ミズアオイ, シラン, エビネ, サギソウ, サクラバハシノキ, オニバス, オキナグサ, イシモチソウ, ビッチュウフウロ, サクラソウ, ガガブタ
注目種	8	カキラン, カゴノキ, ケクロモジ, タヌキマメ, ミヤマシキミ, ミズオトギリ, ナツアサドリ, ムラサキセンブリ	15	キビノミノボロスゲ, ウラシマソウ, ミズギボウシ, コバノトンボソウ, トキソウ, アカガシ, ツクバネガシ, コウホネ, リュウキンカ, コウヤミズキ, シロヤマブキ, ミツガシワ, ナンバンギセル, ムラサキミミカキグサ, ヤチシャジン

絶滅危惧種および危急種は、自然保護協会(1989)のリストに載せられているもの、また、注目種は岡山県(1975)、大久保(1989)を参考に周辺の状況から判断した。

基準として次の文献を参照した。

- ・岡山県自然保護課, 1975, 貴重な個体植物の一覧, 「自然環境保全上重要な地域等に関する資料」
- ・日本自然保護協会, 1989, 「わが国における保護上重要な植物種の現状」(わが国における保護上重要な植物種及び群落に関する研究委員会種分科会編).
- ・大久保一治, 1989, 「岡山県自生植物目録」

以上の選定基準をもとにして, センター内では表3のような種類が貴重種として選ばれた。

(2) 個々の植物

ここでは, 分布上重要と考えられる植物について, センターに建設前から生育していた植物とオープン後に移植した植物の中から種名をあげて説明する。

1) オープン前から生育していた植物

センター周辺でオープン前から生育していた植物の中から, 危急種は2種類, 注目種は次の8種類であった。

① 危急種

コガマ (ガマ科)

Typha orientalis

コガマは水辺や水中で生育する多年生草本で, 水辺環境の減少, ガマとの生育地の競合などが原因で危急種として扱われるようになった。

センターでは水生植物園で生育しているのが確認されている。センターができるときに元たんぼであったところを水深20cm程度のたまりを造ったところ, コガマが群生するようになった。苗は移植していないので, 元からあったものが適した環境が整えられたことによって自然に生育するようになったものと考えられる。

コバノヒルムシロ (ヒルムシロ科)

Potamogeton cristatus

池などの水中で生育する多年生草本である。淡水の池などよく似た環境に生育する類似種のホンバミズヒキモに比べて少ない。

センターでは当初確認されていなかったが, 最近になって上池で生育しているのが確認された。この苗は導入していないので, 元からあったもの

がなかなか見つからず, 後になって確認できたものと考えられる。生育場所が変わり, 必ずしも同じところで生育していないようである。

② 注目種

カキラン (ラン科)

Epipactis thunbergii

カキランはラン科の多年生草本で, 湿原などの限られた環境でのみ生育する植物である。開発などによる湿原の減少のために, カキランも少なくなってきた。

センター内の2ヶ所で確認された。センター内には3ヶ所で自然にできたと思われる湿原があり, そのうちの2ヶ所でカキランが生育しているのが確認された。カキランは外部からの移植によって湿生植物園でも生育している。

カゴノキ (クスノキ科)

Actinodaphne lancifolia

カゴノキは常緑高木で, 常緑広葉樹林内で生育する。幹に鹿子模様が出るのが特徴である。県内では常緑広葉樹林内で生育するが, この樹林が少ないため本種のように林内で生育する常緑樹の分布域も限られている。

センターのカゴノキは野草園の奥のコナラ林内で生育しているのが確認されただけで, ほとんど見られない。

ケクロモジ (クスノキ科)

Lindera sericea

ケクロモジは夏緑広葉樹で, コナラなどの夏緑樹林に生育する低木である。県中部から北部にかけてみられる。近縁の種類のカクロモジなどに比べると限られた場所に生育する。

センターではコナラ林の林内で生育しているのが確認された。センター内では確認できた場所は一カ所である。

タヌキマメ (マメ科)

Crotalaria sessiliflora

タヌキマメはマメ科の1年草である。草原など陽当たりの良い場所に生育する。こうした生育地には帰化植物が生えていたりすることから, 生育地を奪われて次第に減少している植物である。

センターのものは, 田尻大池と上池の間の堤防

に生育している。陽当たりの良い裸地に生育することから、毎年芽生える位置が変わっているが、増減しながらも毎年花を咲かせている。

ミヤマシキミ (ミカン科)

Skimmia japonica

ミヤマシキミは常緑低木で、県中部の樹林内で生育する。県北部の中国山地では近縁のツルシキミが生育している。ツルシキミは雪の影響のために茎が匍匐するのに対して、ミヤマシキミは直立する。

センターではコナラ林の林床に群生するのが確認されている。一カ所のみで確認されている。

ミズオトギリ (オトギリソウ科)

Triadenum japonicum

ミズオトギリは水辺で生育する多年草である。

センターでは湿生植物園の周辺で生育しているのが確認された。湿原の移植に伴って生育するようになったものと考えられる。移植したわけではないのであるが、湿生植物園の造成の際に他から持ち込まれた可能性が高い。

ナツアサドリ (グミ科)

Elaeagnus yoshinoi

ナツアサドリはグミ科の本木植物である。4月の下旬から5月上旬に花をつける。岡山県が分布の東限に当たり、県東部に位置するセンターは県内で最も東に近い分布地といえる。なお、兵庫県内には同じ仲間のアリマゲミが生育している。

センター内では陽当たりの良い林内および林縁に生育している。幹が柔らかく、2~3mにまで延びると次第にしなだれてくる傾向がある。

ムラサキセンブリ (リンドウ科)

Swertia pseudochinensis

ムラサキセンブリはリンドウ科の越年性草本で、秋に青紫色の美しい花を咲かせる。草地に生育することから、草刈りなどが定期的に行われなくなって、減少してきた種類である。

センターでは湿生植物園の法面で草刈りを行った場所に突然現れてきた。

2) オープン後移植した植物

センターでは絶滅に瀕している植物を移植して

保護するように努めている。オープン後に多くの方の協力を得て、増殖していた苗の一部をいただいてそれぞれの植物が適地で生育できるように植えて育てている。ここでは移植した植物の内、貴重な度合いに応じて植物の種類をまとめ解説した。

①絶滅危惧種

絶滅危惧種とは「絶滅にむけて進行しているとみなされる種。いまずぐ絶滅という危機に瀕するということはないが、現状では確実に絶滅の方向に向かっていると判断されるもの」と定義されている(日本自然保護協会, 1989)。

オグラセンノウ (ナデシコ科)

Lychnis kiusiana

オグラセンノウは県内では鯉が窪湿原などの限られた場所でしか生育していない絶滅が危惧されている植物である。

センターのものは個人が増殖していたものをいただいてきた。茎が弱くて長いので他の植物に寄り掛かっていると倒れてしまう。湿生植物園内で背の高い草が生えるやや乾燥した場所で花を咲かせている。

②危急種

危急種は、「人為の影響の如何にかかわらず、個体数が異常に減少し、放置すればやがて絶滅すると推定される種」と定義されている(日本自然保護協会, 1989)。

ヤマトミクリ (ミクリ科)

Sparganium fallax

ヤマトミクリは、絶滅が危惧されているミクリ科の植物の一つである。池の減少、池の水質の変化などによって急激に減少し、絶滅が危惧されている植物である。

センターのものは岡山市内の開発予定地から10株程度移植したものである。湿生植物園では池の周辺の水深5cmほどの浅瀬に植えている。

ナガエミクリ (ミクリ科)

Sparganium japonicum

ナガエミクリは、絶滅が危惧されているミクリ科の植物の一つである。前種と同様に池の減少、池の水質の変化などによって急激に減少し、絶滅が危惧されている植物である。

センターのものは個人の採集したものを数個体いただいて移植したものである。虫の原っぱの池の浅瀬に移植したものがわずかず増えつつある。ミクリ (ミクリ科)

Sparganium stoloniferum

ミクリは、絶滅が危惧されているミクリ科の植物の一つである。前種と同様に池の減少、池の水質の変化などによって急激に減少し、絶滅が危惧されている植物である。

センターのミクリは、湯原湖の周辺に生えていたものを60株ほど移植し、増えたものである。増殖の一翼をになっているのがヌートリアである。ヌートリアはガマの地下茎を好んで食べる。しかし、まちがえて食べたり、食料が減ったために食べたりしたミクリがまずいのか噛みちぎられたまま放置されている。それが、流れによって運ばれた結果、流れの脇で芽生え生長した。

ミズアオイ (ミズアオイ科)

Monochoria korsakowii

ミズアオイは、かつて水田雑草としてはびっこっていた一年生植物である。農薬の影響をうけて減少し、今では絶滅が危惧される植物の一つになっている。

センターのものは倉敷市の自生地から、種子の提供をいただいたものである。毎年種子から芽を出して花を咲かせている。しかし年によって花を咲かせる個体数には変動がある。

シラン (ラン科)

Bletilla striata

シランは紅紫色の花を付けるラン科の多年草である。愛好家の掘り取りなどによって減少している種類である。

センターのものは山採りの苗を個人の庭で育てていたものをいただき、花の広場周辺で育てている。

エビネ (ラン科)

Calanthe discolor

エビネは近年、乱獲のために山地では少なくなってしまう種類である。

センターのものは個人で栽培していたものをいただいて育てている。ヒノキの植林地の中で適度

の陽当たりのある湿度の十分ある場所で、増殖している。一部コナラ林の林縁に植えたものは、来訪者によって盗掘されてしまった。

サギソウ (ラン科)

Habenaria radiata

サギソウは各地で湿原が減少していくのにつれて、次第に少なくなっている植物である。また、花が美しいので、乱獲によっても減少している。

センターのものは、倉敷市の帯江地区に自生していたものを湿原の苗を移植する際に持ち込まれたものである。移植した湿原の土の中に入っていたものと、同じ所から球根を持ち帰って増殖していただいたものを移植した。湿生植物園では毎年1万株を超える花が咲く。

サクラバハノキ (カバノキ科)

Alnus traveculosa

サクラバハノキは谷間の湿度の高い場所を中心に分布している。しかし、近縁のハノキに比べて分布域は限られている。

センターのものは吉備高原の自生地から移植してきた。湿生植物園の池の周りに植えた母樹からの種子が芽生えて、稚樹が育ってきた。

オニバス (スイレン科)

Euryale ferox

オニバスは水の中で生育する一年草である。種子はたくさんできるが、この内次の年に発芽してくるのは一部で、2年目の方が多く発芽してくるといわれている。各地で水辺の減少とともに少なくなっている植物である。

センターのものは、研究用に育てていたものをわけていただいたものである。毎年開花するとは限らない。水面に花を出す場合と水中で閉鎖花を付ける場合がある。いずれもたくさんの種子を作る。

オキナグサ (キンボウゲ科)

Pulsatilla cernua

オキナグサは畑や水田の周辺で生育する普通に見られた植物である。草刈りの周期とうまく一致して生育していた。しかし、帰化植物の増加などによって次第に少なくなっている植物である。

センターのものは、虫の原っぱなど数カ所に植

えられている。草刈りなどを十分にしていなくて
 ころでは、次の年には芽を出さないなど、維持を
 するのがかなり難しい植物である。

イシモチソウ（モウセンゴケ科）

Drosera pellata var. *nipponica*

イシモチソウはモウセンゴケと同様に湿原の周
 辺で生える食虫植物である。茎を伸ばしてその先
 に粘液を出す腺毛を持った葉をつける。これで虫
 を挟みつけるようにとらえる。

センターのものは岡山市から移植してきた。湿
 生植物園の周辺で水がしみ出すところに植えてい
 る。草刈りをしないと草に覆われてしまい、生育
 できなくなってしまう。ハッチョウトンボをとら
 えたりするなど、活発に活動している。

ビッチュウフウロ（フウロソウ科）

Geranium yoshinoi

ビッチュウフウロは、地域的な変異が多いフウ
 ロソウ科の植物で、岡山県周辺に生育している。
 県内では鯉が窪湿原などの限られたところでしか
 生育しなくなった植物である。

センターのものは栽培していたものをいただいて
 湿生植物園に植えたものである。

サクラソウ（サクラソウ科）

Primula sieboldii

サクラソウは湿地に生える多年草である。湿地
 の減少による生育地の減少や乱獲によってすくな
 くなった植物である。全国各地で保護ための試
 みがなされている。特別天然記念物に指定されて
 保護されている埼玉県浦和市田島ヶ原の自生地は
 全国的に有名になった。

センターのものは、個人が栽培していたものを
 いただいて植えたものである。砂地の陽当たりの
 よい場所でよく生育して増殖している。

ガガブタ（ミツガシワ科）

Nymphoides indica

カガブタは、池に生える多年草である。各地で
 水辺の減少とともに少なくなっている植物である。
 花は一日花であり、毎日毎日たくさんの花をつけ
 る。花期も長い。

センターのものは個人が採集したものをいただ
 いて上池に入れたところ広がった。その後、芽生

えの時期に攪乱を受けたために、減少してしまっ
 た。

③注目種（センター周辺では稀少となっている植
 物）

キビノミノボロスゲ（カヤツリグサ科）

Carex paxii

キビノミノボロスゲは、池の周辺などの湿った
 ところに生育する植物である。生育地の減少によ
 って少なくなっている植物である。

センターのものは個人の庭で栽培されていたも
 のをいただいたものである。湿生植物園のコウホ
 ネ池の周辺に植えたものは、次第に大きな株にな
 ってきた。

ウラシマソウ（サトイモ科）

Arisaema urashima

ウラシマソウは林内に生育する多年生草本であ
 る。生育地の減少などによって少なくなった種類
 である。

センターでは増殖していた方から苗をいただき
 てきて、植林内で育てている。次第に株が大き
 くなり、大きな花を咲かせるようになった。

ミズギボウシ（ユリ科）

Hosta longissima var. *brevifolia*

ミズギボウシは湿原に生育する多年生草本であ
 る。湿原の減少などや生育地の減少で、少なくな
 っている種類である。地上部に出した葉が高茎草
 本に覆われるなど競争に弱いことも減少の一因と
 考えられる。

湿原の移植に伴って導入された植物で、初期の
 段階では日がよく当たる環境下では増加していた
 が、他の植物が生育するにつれて、少なくなっ
 てしまう傾向が見られる。

コバノトンボソウ（ラン科）

Platanthera tipuloides var. *nipponica*

コバノトンボソウは湿原に生育するラン科の多
 年草である。湿原の減少とともにサギソウなどの
 湿生植物と同様に少なくなった植物である。

センターのものは湿原の移植元に生育していた
 ものが、湿原の苗の移植とともについてきて生え
 たものである。

トキシソウ（ラン科）

Pogonia japonica

トキソウは湿原に生育するラン科の多年草である。湿原の減少とともにサギソウなどの湿生植物と同様に少なくなった植物である。

センターのものは、サギソウと同じ所から移植した土の中に含まれていたものと、地下茎をいただいて増殖したものが生育している。

アカガシ (ブナ科)

Quercus acuta

アカガシは常緑高木である。県中部を中心に神社などの限られた場所に分布している。

センターでは低木が植栽されている。

ツクバネガシ (ブナ科)

Quercus sessilifolia

ツクバネガシは常緑高木である。アカガシ同様に県中部を中心に神社などの限られた場所で生育している。センターの近くの神社(赤坂町)で自生しているのが確認されているので、今後ドングリなどが運ばれるなどして自生するようになる可能性もある。

センターでは低木が植栽されている。

コウホネ (スイレン科)

Nuphar japonicum

コウホネは池に生育する浮葉性の多年草である。水深の深い池では生育できないことから、生育に適した水深や水質の池が減少していることが原因で減少している種類である。

センターのものは、自生地から一部を移植して増やしたものである。適した場所であることからその後増加し、毎年たくさんの花をつけている。

リュウキンカ (キンポウゲ科)

Caltha palustris var. *membranacea*

リュウキンカは湿原に生育する多年草である。湿原の減少とともにサギソウなどの湿生植物と同様に少なくなった植物である。

センターのものは個人が栽培していたものをいただいて増やしている。株はなかなか大きくなり、花の数もまだ少ない。しかし、着実に増えている。

コウヤミズキ (マンサク科)

Coyrlopsis gotoana

コウヤミズキは夏緑性の低木である。県中部の山すそなどで生育する。

センターの個人が栽培していたものをいただいてきたりして植栽されたものである。

シロヤマブキ (バラ科)

Rhodotypos scandens

シロヤマブキは夏緑性の低木である。県西部の石灰岩地帯に自生する。限られた地質に適応して生育しているものであることや白い花をつけるヤマブキである珍しいものであることから、自生地から持ち出され減少している種類である。

センターには種子から育てた苗を移植している。ミツガシワ (リンドウ科)

Menyanthes trifoliata

ミツガシワは氷河期の生き残り植物ともいわれ、県内では蒜山などわずかなところでしか生育していない。

センターのものは倉敷市内で移植して増えたものをいただいてきた。湿生植物園の池に植え、地下系を伸ばしながら次第に数を増やしている。

ナンバンギセル (ハマウツボ科)

Aeginetia indica var. *gracilis*

ナンバンギセルはハマウツボ科の1年生寄生植物で、秋に薄紫色の花を咲かせる。ススキなどの根に寄生する。ススキが弱ってくると、うまく成長ができなくなり、枯れてしまうことがある。

センターでは種子をいただいてきて、ススキの株に元に蒔いたところ次の年に伸び出して花を咲かせた。次の年は別のところに蒔いたものが伸びだし、同じ場所では続けて咲きにくいようである。ムラサキミミカキグサ (タヌキモ科)

Utricularia uliginosa

ムラサキミミカキグサは湿原に生育するタヌキモ科の多年性の食虫植物である。湿原の減少とともにサギソウなどの湿生植物と同様に少なくなった植物である。

センターのものは湿原の移植元に生育していたものが、湿原の苗の移植とともについてきて生えたものである。

ヤチシャジン (キキョウ科)

Adenophora palustris

ヤチシャジン(ヤチシヤジン)は湿原に生育するキキョウ科の多年草である。湿原の減少とともに少なくなった植物である。

センターのものは個人が栽培していたものをいっただいてきた。株はなかなか大きくなり、花の数もまだ少ない。

3. その他

絶滅危惧種のツメレンゲ、タコノアシは、苗をいっただいて植えてみた。一年目は順調に生育したが、翌年芽を出さず定着できなかった。このほかにも数種類がセンター内に生育しているのが確認されたが、現状は不明である。

まとめ

センターに生育している種子植物について調査した結果、678種にのぼる植物が生育していることが確認できた。このうち自生している植物は508種、移植した植物は170種であった。

貴重な植物40種については、参考資料にしたがって絶滅危惧の度合いごとにまとめ、それぞれの種について一般的な解説とセンター内での生育状況を記した。

引用文献

日本自然保護協会, 1989. 「わが国における保護上重要な植物種の現状」(わが国における保護上重要な植物種及び群落に関する研究委員会分科会編). 日本自然保護協会, 東京.

岡山県自然保護課, 1975. 貴重な個体植物一覧. 「自然環境保全上重要な地域等に関する資料」, 3-13. 岡山県.

大井次三郎, 1983. 「新日本植物誌」(北川政夫改訂). 1716pp. 至文堂, 東京.

大久保一治, 1989. 「岡山県自生植物目録」. 347 pp. 岡山花の会, 瀬戸町.

長田武正, 1984. 「検索入門野草図鑑」全8巻. 保育社, 大阪.

長田武正, 1993. 「増補日本イネ科植物図譜」. 777pp. 平凡社, 東京.



写真1. タヌキマメ



写真2. ナツアサドリ



写真3. オグラセンノウ



写真4. ミクリ



写真5. エビネ



写真9.
トキソウ



写真6. サギソウ

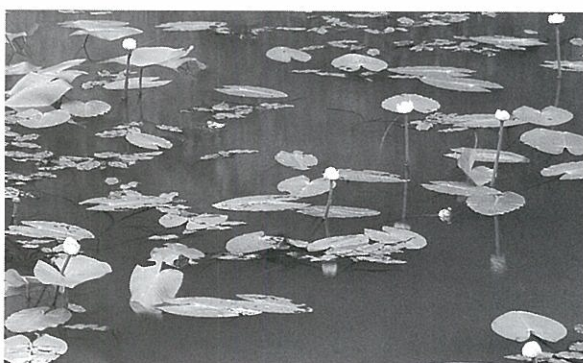


写真10. コウホネ

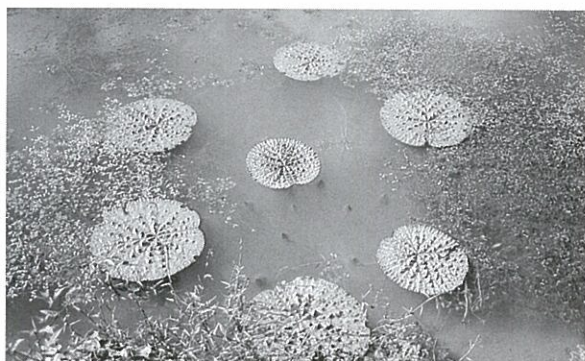


写真7. オニバス



写真11. リュウキンカ



写真8. サクラソウ



写真12.
ミツガシワ

岡山県自然保護センター種子植物リスト

◎印は植栽した植物。なお、センター開設以前に植栽された植物や植栽に伴って生育するようになったと思われる植物は含まれていない。

●印は県内での生育が少ない貴重な植物。

このほかにも導入した植物があるが、定着が確認できないものについてはこのリストから除外してある。

種子植物門	SPERMATOPHYTA
裸子植物亜門	GYMNOSPERMAE
イチョウ科	……Ginkgoaceae
イチョウ	<i>Ginkgo biloba</i>
マツ科	……Pinaceae
アカマツ	<i>Pinus densiflora</i>
クロマツ	<i>Pinus thunbergii</i>
スギ科	……Taxodiaceae
スギ	<i>Cryptomeria japonica</i>
ヒノキ科	……Cupressaceae
ヒノキ	<i>Chamaecyparis obtusa</i>
ネズ	<i>Juniperus rigida</i>
被子植物亜門	ANGIOSPERMAE
単子葉植物綱	MONOCOTYLEDONEAE
ガマ科	……Typhaceae
ガマ	<i>Typha latifolia</i>
●コガマ	<i>Typha orientalis</i>
ミクリ科	……Sparganiaceae
◎●ヤマトミクリ	<i>Sparganium fallax</i>
◎●ナガエミクリ	<i>Sparganium japonicum</i>
◎●ミクリ	<i>Sparganium stoloniferum</i>
ヒルムシロ科	……Potamogetonaceae
エビモ	<i>Potamogeton crispus</i>
●コバノヒルムシロ	<i>Potamogeton cristatus</i>
ヒルムシロ	<i>Potamogeton distinctus</i>
◎フトヒルムシロ	<i>Potamogeton fryeri</i>
ササバモ	<i>Potamogeton malaiianus</i>
ホソバミズヒキモ	<i>Potamogeton octandrus</i>
イバラモ科	……Najadaceae
ホッスモ	<i>Najas graminea</i>
◎イトトリゲモ	<i>Najas japonica</i>
◎イバラモ	<i>Najas marina</i>
◎オオトリゲモ	<i>Najas oguraensis</i>
オモダカ科	……Alismataceae
ヘラオモダカ	<i>Alisma canaliculatum</i>
◎アギナシ	<i>Sagittaria aginashi</i>
トチカガミ科	……Hydrocharitaceae
スブタ	<i>Blyxa ceratosperma</i>
ヤナギスブタ	<i>Blyxa japonica</i>

クロモ	<i>Hydrilla verticillata</i>
ミズオオバコ	<i>Ottelia alismoides</i>
イネ科	……Gramineae
コヌカグサ	<i>Agrostis gigantea</i>
ヌカボ	<i>Agrostis clavata</i> spp. <i>matsumurae</i>
スズメノテッポウ	<i>Alopecurus aequalis</i>
セトガヤ	<i>Alopecurus japonicus</i>
メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>
ハルガヤ	<i>Anthoxanthum odoratum</i>
コブナグサ	<i>Arthraxon hispidus</i>
トダシバ	<i>Arundinella hirta</i>
ミノゴメ (カズノコグサ)	<i>Beckmannia syzigachne</i>
◎ コバンソウ	<i>Briza maxima</i>
◎ ヒメコバンソウ	<i>Briza minor</i>
イヌムギ	<i>Bromus unioloides</i>
ノガリヤス	<i>Calamagrostis brachytricha</i>
◎ ジュズダマ	<i>Coix lacryma-jobi</i>
オガルカヤ	<i>Cymbopogon tortilis</i> var. <i>goeringii</i>
ギョウギシバ	<i>Cynodon dactylon</i>
カモガヤ	<i>Dactylis glomerata</i>
メヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i>
コメヒシバ	<i>Digitaria radicata</i>
アキメヒシバ	<i>Digitaria violascens</i>
◎ カリマタガヤ	<i>Dimeria ornithopoda</i>
アブラススキ	<i>Eccoilopus cotulifer</i>
イヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i>
ケイヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>echinata</i>
タイヌビエ	<i>Echinochloa oryzoides</i>
◎ ヒエ	<i>Echinochloa utilis</i>
オヒシバ	<i>Eleusine indica</i>
アオカモジグサ	<i>Elymus racemifer</i>
カモジグサ	<i>Elymus tsukushiensis</i> var. <i>transiens</i>
ナルコビエ	<i>Eriochloa villosa</i>
カゼクサ	<i>Eragrostis ferruginea</i>
オニウシノケグサ	<i>Festuca arundinacea</i>
ヒロハノウシノケグサ	<i>Festuca pratensis</i>
ムツオレグサ	<i>Glyceria acutiflora</i>
チガヤ	<i>Imperata cylindrica</i> var. <i>koenigii</i>
チゴザサ	<i>Isachne globosa</i>
カモノハシ	<i>Ischaemum aristatum</i> var. <i>glaucum</i>
アシカキ	<i>Leersia japonica</i>
サヤヌカグサ	<i>Leersia sayanuka</i>
アゼガヤ	<i>Leptochloa chinensis</i>
◎ アシボソ	<i>Microstegium vimineum</i>
ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>
◎ ヌマガヤ	<i>Molinia japonica</i>
ケチヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i>
チヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> var. <i>japonicus</i>
イネ	<i>Oryza sativa</i>
ヌカキビ	<i>Panicum bisulcatum</i>
オオクサキビ	<i>Panicum dichotomiflorum</i>
◎ キビ	<i>Panicum miliaceum</i>
スズメノヒエ	<i>Paspalum thunbergii</i>
チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides</i>
◎ クサヨシ	<i>Phalaris arundinacea</i>
◎ ヨシ	<i>Phragmites australis</i>
◎ ツルヨシ	<i>Phragmites japonica</i>

- | | |
|--------------|--|
| ハチク | <i>Phyllostachys nigra</i> |
| ケネザサ | <i>Pleioblastus shibuyanans f. pubescens</i> |
| メダケ | <i>Pleioblastus simonii</i> |
| スズメノカタビラ | <i>Poa annua</i> |
| ツクシスズメノカタビラ | <i>Poa crassinervis</i> |
| ナガハグサ | <i>Poa pratensis</i> |
| イチゴツナギ | <i>Poa sphondylodes</i> |
| ウキシバ | <i>Pseudoraphis ukishiba</i> |
| ハイヌメリ | <i>Sacciolepis indica</i> |
| アキノエノコログサ | <i>Setaria faberi</i> |
| キンエノコロ | <i>Setaria glauca</i> |
| ◎ アワ | <i>Setaria italica</i> |
| コツブキンエノコロ | <i>Setaria pallide-fusca</i> |
| エノコログサ | <i>Setaria viridis</i> |
| ネズミノオ | <i>Sporobolus fertilis</i> |
| メガルカヤ | <i>Themeda triandra var. japonica</i> |
| カニツリグサ | <i>Trisetum bifium</i> |
| ◎ シバ | <i>Zoysia japonica</i> |
| マコモ | <i>Zizania latifolia</i> |
| カヤツリグサ科 | ……Cyperaceae |
| マツバスケ | <i>Carex biwensis</i> |
| アオスケ | <i>Carex breviculmis</i> |
| ハリガネスケ | <i>Carex capillacea</i> |
| ヒメカンスゲ | <i>Carex conica</i> |
| オニスゲ | <i>Carex dickinsii</i> |
| カサスケ | <i>Carex dispalata</i> |
| ヒカゲスケ | <i>Carex floribunda</i> |
| ジュズスケ | <i>Carex ischnostachya</i> |
| ナキリスゲ | <i>Carex lenta var. lenta</i> |
| ゴウソ | <i>Carex maximowiczii</i> |
| ◎ ヤチカワズスケ | <i>Carex omiana</i> |
| ◎● キビノミノボロスゲ | <i>Carex paxii</i> |
| ヒメゴウソ | <i>Carex phacota</i> |
| カワラスガナ | <i>Carex sanguinolentus</i> |
| タガネソウ | <i>Carex siderosticta</i> |
| ニシノホンモンジスケ | <i>Carex stenostachys</i> |
| アゼスケ | <i>Carex thunbergii</i> |
| チャガヤツリ | <i>Cyperus amuricus</i> |
| ヒメクグ | <i>Cyperus brevifolius var. leirolepis</i> |
| タマガヤツリ | <i>Cyperus difformis</i> |
| ヒメガヤツリ | <i>Cyperus flaccidus</i> |
| アゼガヤツリ | <i>Cyperus globosus</i> |
| コアゼガヤツリ | <i>Cyperus haspan</i> |
| コゴメガヤツリ | <i>Cyperus iria</i> |
| カヤツリグサ | <i>Cyperus microiria</i> |
| オニガヤツリ | <i>Cyperus pilosus</i> |
| カワラスガナ | <i>Cyperus sanguinolentus</i> |
| ミズガヤツリ | <i>Cyperus serotinus</i> |
| マツバイ | <i>Eleocharis acicularis</i> |
| ハリイ | <i>Eleocharis congesta</i> |
| マシカクイ | <i>Eleocharis tetraquetra</i> |
| テンツキ | <i>Fimbristylis dichotoma</i> |
| ヒデリコ | <i>Fimbristylis miliacea</i> |
| ヤマイ | <i>Fimbristylis subbispicata</i> |
| メアゼテンツキ | <i>Fimbristylis velata</i> |
| ヒンジガヤツリ | <i>Lipocarpus microcephala</i> |
| ◎ イヌノハナヒゲ | <i>Rhynchospora chinensis</i> |

- | | |
|---------------|---|
| ◎ イトイヌノハナヒゲ | <i>Rhynchospora faberi</i> |
| ◎ コイヌノハナヒゲ | <i>Rhynchospora fujiana</i> |
| ホタルイ | <i>Scirpus hotarui</i> |
| フトイ | <i>Scirpus tabernaemontani</i> |
| カンガレイ | <i>Scirpus triangulatus</i> |
| アブラガヤ | <i>Scirpus wichurae</i> |
| コマツカサススキ | <i>Scirpus fuirenoides</i> |
| コシンジュガヤ | <i>Scleria parvula</i> |
| マネキシンジユガヤ | <i>Scleria rugosa</i> var. <i>glabrescens</i> |
| サトイモ科 | ……Araceae |
| ショウブ | <i>Acorus calamus</i> var. <i>angustatus</i> |
| ◎ セキショウ | <i>Acorus gramineus</i> |
| ◎●ウラシマソウ | <i>Arisaema urashima</i> |
| ◎ コンニヤク | <i>Amorphophalus rivieri</i> |
| ウキクサ科 | ……Lemnaceae |
| アオウキクサ | <i>Lemna paucicostata</i> |
| ウキクサ | <i>Spirodela polyrhiza</i> |
| ホシクサ科 | ……Eriocaulaceae |
| ◎ コイヌノヒゲ | <i>Eriocaulon decemflorum</i> |
| ◎ シロイヌノヒゲ | <i>Eriocaulon sikokianum</i> |
| ツユクサ科 | ……Commelinaceae |
| イボクサ | <i>Aneilema keisak</i> |
| ツユクサ | <i>Commelina communis</i> |
| ミズアオイ科 | ……Pontederiaceae |
| ◎ ホテイアオイ | <i>Eichhornia crassipes</i> |
| ◎●ミズアオイ | <i>Monochoria korsakowii</i> |
| コナギ | <i>Monochoria vaginalis</i> var. <i>plantaginea</i> |
| イグサ科 | ……Juncaceae |
| ハナビゼキショウ | <i>Juncus alatus</i> |
| イ | <i>Juncus effusus</i> var. <i>decipiens</i> |
| ◎ コウガイゼキショウ | <i>Juncus leschenaultii</i> |
| ◎ アオコウガイゼキショウ | <i>Juncus papillosus</i> |
| クサイ | <i>Juncus tenuis</i> |
| スズメノヤリ | <i>Luzula capitata</i> |
| ヤマスズメノヒエ | <i>Luzula multiflora</i> |
| ヌカボシソウ | <i>Luzula plumosa</i> var. <i>macrocarpa</i> |
| ユリ科 | ……Liliaceae |
| ノギラン | <i>Aletris luteoviridis</i> |
| ソクシンラン | <i>Aletris spicata</i> |
| ヤマラッキョウ | <i>Allium thunbergii</i> |
| ◎ シライトソウ | <i>Chionographis japonica</i> |
| ヤマノイモ | <i>Dioscorea japonica</i> |
| ◎ ホウチャクソウ | <i>Disporum smilacinum</i> |
| ショウジョウバカマ | <i>Heloniopsis orientalis</i> |
| ヤブカンゾウ | <i>Hemerocallis fulva</i> var. <i>kwanso</i> |
| ◎ ユウスゲ | <i>Hemerocallis vespertina</i> |
| ◎●ミズギボウシ | <i>Hosta longissima</i> var. <i>brevifolia</i> |
| ヒメヤブラン | <i>Liriope minor</i> |
| ヤブラン | <i>Liriope platyphylla</i> |
| ◎ ササユリ | <i>Lilium japonicum</i> |
| ◎ コオニユリ | <i>Lilium leichtlii</i> var. <i>tigrinum</i> |

ジャノヒゲ	<i>Ophiopogon japonicus</i>
ナガバジャノヒゲ	<i>Ophiopogon ohwii</i>
ホソバナオオアマナ	<i>Ornithogalum umbellatum</i>
オモト	<i>Rohdea japonica</i>
ツルボ	<i>Scilla scilloides</i>
サルトリイバラ	<i>Smilax china</i>
ヤマジノホトトギス	<i>Tricyrtis affinis</i>
ヤマホトトギス	<i>Tricyrtis macropoda</i>
ヒガンバナ科	----Amaryllidaceae
◎ ヒガンバナ	<i>Lycoris radiata</i>
◎ キツネノカミソリ	<i>Lycoris sanguinea</i>
◎ ナツズイセン	<i>Lycoris squamigera</i>
ヤマノイモ科Dioscoreaceae
ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i>
ヒメドコロ	<i>Dioscorea tenuipes</i>
オニドロコ	<i>Dioscorea tokoro</i>
アヤメ科Iridaceae
◎ ヒオウギ	<i>Belamcanda chinensis</i>
◎ ノハナショウブ	<i>Iris ensata</i> var. <i>spontanea</i>
◎ シャガ	<i>Iris japonica</i>
◎ カキツバタ	<i>Iris laevigata</i>
◎ キショウブ	<i>Iris pseudacorus</i>
◎ アヤメ	<i>Iris sanguinea</i>
カキツバタ	<i>Iris laevigata</i>
ニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium atlanticum</i>
ショウガ科Zingiberaceae
◎ ミョウガ	<i>Zingiber mioga</i>
ラン科Orchidaceae
◎●シラン	<i>Bletilla striata</i>
◎●エビネ	<i>Calanthe discolor</i>
シュンラン	<i>Cymbidium goeringii</i>
●カキラン	<i>Epipactis thunbergii</i>
ミヤマウズラ	<i>Goodyera schlechtendaliana</i>
◎●サギソウ	<i>Habenaria radiata</i>
◎ ミズトンボ	<i>Habenaria sagittifera</i>
◎●コバノトンボソウ	<i>Platanthera tipuloides</i> var. <i>nipponica</i>
オオバノトンボソウ	<i>Platanthera minor</i>
◎●トキソウ	<i>Pogonia japonica</i>
◎ ネジバナ	<i>Spiranthes sinensis</i>
双子葉植物綱	DICOTYLEDONEAE
離弁花亜綱	CHORIPETALAE
ドクダミ科Saururaceae
ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>
◎ ハンゲショウ	<i>Saururus chinensis</i>
センリョウ科Chloranthaceae
◎ ヒトリシズカ	<i>Chloranthus japonica</i>
ヤナギ科Salicaceae
ヤマナラシ	<i>Populus sieboldii</i>
サイコクキツネヤナギ	<i>Salix alopechroa</i>

- | | |
|-------------|--|
| カワヤナギ | <i>Salix gilgiana</i> |
| ◎ ネコヤナギ | <i>Salix gracilistyla</i> |
| タチヤナギ | <i>Salix subfragilis</i> |
| ヨシノヤナギ | <i>Salix yoshinoi</i> |
| ヤマモモ科 | ……Myricaceae |
| ◎ ヤマモモ | <i>Myrica rubra</i> |
| クルミ科 | ……Juglandaceae |
| ノグルミ | <i>Platycarya strobilacea</i> |
| カバノキ科 | ……Betulaceae |
| ◎ ハンノキ | <i>Alnus japonica</i> |
| オオバヤシャブシ | <i>Alnus sieboldiana</i> |
| ◎● サクラバハンノキ | <i>Alnus traveculosa</i> |
| アカシデ | <i>Carpinus laxiflora</i> |
| ◎ イヌシデ | <i>Carpinus tschonoskii</i> |
| ブナ科 | ……Fagaceae |
| クリ | <i>Castanea crenata</i> |
| ◎ スダジイ | <i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i> |
| ◎ シリブカガシ | <i>Pasania glabra</i> |
| ◎● アカガシ | <i>Quercus acuta</i> |
| クヌギ | <i>Quercus acutissima</i> |
| ◎ ナラガシワ | <i>Quercus aliena</i> |
| ◎ カシワ | <i>Quercus dentata</i> |
| アラカシ | <i>Quercus glauca</i> |
| ◎ ミズナラ | <i>Quercus mongolica</i> var. <i>grosseserrata</i> |
| ◎ シラカシ | <i>Quercus myrsinaefolia</i> |
| コナラ | <i>Quercus serrata</i> |
| ◎ ウラジロガシ | <i>Quercus salicina</i> |
| ◎● ツクバネガシ | <i>Quercus sessilifolia</i> |
| アベマキ | <i>Quercus variabilis</i> |
| ニレ科 | ……Ulmaceae |
| ムクノキ | <i>Aphananthe aspera</i> |
| ◎ エノキ | <i>Celtis sinensis</i> var. <i>japonica</i> |
| ◎ ケヤキ | <i>Zelkova serrata</i> |
| クワ科 | ……Moraceae |
| ヒメコウゾ | <i>Broussonetia kazinoki</i> |
| ◎ イチジク | <i>Ficus carica</i> |
| ◎ イタビカズラ | <i>Ficus sarmentosa</i> var. <i>nipponica</i> |
| ◎ ヤマグワ | <i>Morus bombycis</i> |
| ビャクダン科 | ……Santalaceae |
| カナビキソウ | <i>Thesium chinense</i> |
| ヤドリギ科 | ……Loranthaceae |
| マツグミ | <i>Taxillus kaempferi</i> |
| ◎ ヒノキバヤドリギ | <i>Korthalsella japonica</i> |
| ウマノスズクサ科 | ……Aristolochiaceae |
| ◎ ミヤコアオイ | <i>Asarum asperum</i> |
| タデ科 | ……Polygonaceae |
| ◎ ソバ | <i>Fagopyrum esculentum</i> |
| サクラタデ | <i>Polygonum conspicuum</i> |

- | | |
|------------|---|
| イタドリ | <i>Polygonum cuspidatum</i> |
| ナガバノウナギツカミ | <i>Polygonum hastato-sagittatum</i> |
| ヤナギタデ | <i>Polygonum hydropiper</i> |
| シロバナサクラタデ | <i>Polygonum japonicum</i> |
| オオイヌタデ | <i>Polygonum lapathifolium</i> |
| イヌタデ | <i>Polygonum longisetum</i> |
| ヤノネグサ | <i>Polygonum nipponense</i> |
| イシミカワ | <i>Polygonum perfoliatum</i> |
| ボントクタデ | <i>Polygonum pubescens</i> |
| サナエタデ | <i>Polygonum scabrum</i> |
| ママコノシリヌグイ | <i>Polygonum senticosum</i> |
| アキノウナギツカミ | <i>Polygonum sieboldi</i> |
| ウナギツカミ | <i>Polygonum sieboldii</i> var. <i>aestivum</i> |
| ミゾソバ | <i>Polygonum thunbergii</i> |
| スイバ | <i>Rumex acetosa</i> |
| ヒメスイバ | <i>Rumex acetosella</i> |
| アレチギシギシ | <i>Rumex conglomeratus</i> |
| ギシギシ | <i>Rumex japonicus</i> |
| エゾノギシギシ | <i>Rumex obtusifolius</i> |
| アカザ科 | ……Chenopodiaceae |
| シロザ | <i>Chenopodium album</i> |
| オカヒジキ | <i>Salsola komarovii</i> |
| ヒユ科 | ……Amaranthaceae |
| ヒナタイノコズチ | <i>Achyranthes fauriei</i> |
| ヒカゲイノコズチ | <i>Achyranthes japonica</i> |
| ヤマゴボウ科 | ……Phytolaccaceae |
| ヨウシュヤマゴボウ | <i>Phytolacca americana</i> |
| スベリヒユ科 | ……Portulacaceae |
| スベリヒユ | <i>Portulaca oleracea</i> |
| ナデシコ科 | ……Caryophyllaceae |
| ノミノツヅリ | <i>Arenaria serpyllifolia</i> |
| オランダミミナグサ | <i>Cerastium glomeratum</i> |
| ミミナグサ | <i>Cerastium holosteoides</i> var. <i>angustifolium</i> |
| カワラナデシコ | <i>Dianthus superbus</i> var. <i>longicalycinus</i> |
| ◎●オグラセンノウ | <i>Lychnis kiusiana</i> |
| ツメクサ | <i>Sagina maxima</i> |
| ムシトリナデシコ | <i>Silene armeria</i> |
| ノミノフスマ | <i>Stellaria alsine</i> var. <i>undulata</i> |
| ウシハコベ | <i>Stellaria aquatica</i> |
| コハコベ | <i>Stellaria media</i> |
| ミドリハコベ | <i>Stellaria neglecta</i> |
| スイレン科 | ……Nymphaeaceae |
| ◎ ジュンサイ | <i>Brasenia schreberi</i> |
| ◎●オニバス | <i>Euryale ferox</i> |
| ◎ ハス | <i>Nelumbo nucifera</i> |
| ◎●コウホネ | <i>Nuphar japonicum</i> |
| ◎ ヒツジグサ | <i>Nymphaea tetragona</i> |
| マツモ科 | ……Ceratophyllaceae |
| マツモ | <i>Ceratophyllum demersum</i> |
| キンポウゲ科 | ……Ranunculaceae |

- ヒメウズ
 ◎●リュウキンカ
 センニンソウ
 ◎ ヤマシャクヤク
 ◎●オキナグサ
 ケキツネノボタン
 ウマノアシガタ
 キツネノボタン
- アケビ科
 ミツバアケビ
 ムベ
- ツヅラフジ科
 アオツヅラフジ
- モクレン科
 ◎ コブシ
 ホオノキ
 タムシバ
 ◎ シデコブシ
- クスノキ科
 ●カゴノキ
 クスノキ
 ヤマコウバシ
 ●ケクロモジ
 ◎ タブノキ
- ケシ科
 ◎ ヤマブキソウ
 フウロケマン
- アブラナ科
 セイヨウカラシナ
 セイヨウアブラナ
 ナズナ
 タネツケバナ
 ミズタガラシ
 コタネツケバナ
 マメゲンバイナズナ
 スカシタゴボウ
- モウセンゴケ科
 ◎●イシモチソウ
 ◎ モウセンゴケ
- ベンケイソウ科
 コモチマンネングサ
- ユキノシタ科
 チダケサシ
 ウツギ
 ◎ ベニガク
 ◎ ウメバチソウ
 ◎ バイカウツギ
 イワガラミ
 ユキノシタ
- Aquilegia adoxoides*
Caltha palustris var. *membranacea*
Clematis terniflora
Paeonia japonica
Pulsatilla cernua
Ranunculus cantoniensis
Ranunculus japonicus
Ranunculus silerifolius
- ……Lardizabalaceae
Akebia trifoliata
Stanutonia hexaphylla
- ……Menispermaceae
Cocculus orbiculatus
- ……Magnoliaceae
Magnolia kobus
Magnolia obavata
Magnolia salicifolia
Magnolia stellata
- ……Lauraceae
Actinodaphne lancifolia
Cinnamomum camphora
Lindera glauca
Lindera sericea
Persea thunbergii
- ……Papaveraceae
Chelidonium japonicum
Corydalis pallida
- ……Cruciferae
Brassica juncea
Brassica napus
Capsella bursa-pastoris
Cardamine flexuosa
Cardamine lyrata
Cardamine parviflora
Lepidium virginicum
Rorippa islandica
- ……Droseraceae
Drosera peltata var. *nipponica*
Drosera rotundifolia
- ……Crassulaceae
Sedum bulbiferum
- ……Saxifragaceae
Astilbe microphylla
Deutzia crenata
Hydrangea macrophylla f. *rosalba*
Parnassia palustris
Philadelphus satsumi
Schizophragma hydrangeoides
Saxifraga stolonifera

- | | |
|--------------|--|
| トベラ科 | ……Pittosporaceae |
| ◎ トベラ | <i>Pittosporum tobira</i> |
| ◎ コヤスノキ | <i>Pittosporum illicioides</i> |
| マンサク科 | ……Hamamelidaceae |
| ◎●コウヤミズキ | <i>Coyrlopsis gotoana</i> |
| ◎ マンサク | <i>Hamamelis japonica</i> |
| バラ科 | ……Rosaceae |
| キンミズヒキ | <i>Agrimonia japonica</i> |
| ザイフリボク | <i>Amelanchier asiatica</i> |
| ◎ ボケ | <i>haenomeles spciosa</i> |
| ヘビイチゴ | <i>Duchesnea chrysantha</i> |
| ◎ ビワ | <i>Eriobotrya japonica</i> |
| ◎ ヤエヤマブキ | <i>Kerria japonica f. plena</i> |
| ◎ カナメモチ | <i>Photinia glabra</i> |
| キジムシロ | <i>Potentilla fragarioides var. major</i> |
| ミツバツチグリ | <i>Potentilla freyniana</i> |
| オヘビイチゴ | <i>Potentilla kleiniana</i> |
| カマツカ | <i>Pourthiaea villosa var. laevis</i> |
| ウワミズザクラ | <i>Prunus grayana</i> |
| ◎ ヤマザクラ | <i>Prunus jamasakura</i> |
| ◎ オオシマザクラ | <i>Prunus lannesiana var. speciosa</i> |
| ◎ ウメ | <i>Prunus mume</i> |
| ◎ ユスラウメ | <i>Prunus tomentosa</i> |
| カスミザクラ | <i>Prunus verecunda</i> |
| ◎ ソメイヨシノ | <i>Prunus x yedoensis</i> |
| ◎ マルバノシャリンバイ | <i>Rhaphiolepis umbellata var. integerrima</i> |
| ◎●シロヤマブキ | <i>Rhodotypos scandens</i> |
| ノイバラ | <i>Rosa multiflora</i> |
| ミヤコイバラ | <i>Rosa paniculigera</i> |
| テリハノイバラ | <i>Rosa wichuraiana</i> |
| クマイチゴ | <i>Rubus crataegifolius</i> |
| クサイチゴ | <i>Rubus hirsutus</i> |
| ナガバモミジイチゴ | <i>Rubus palmatus</i> |
| ナワシロイチゴ | <i>Rubus parvifolius</i> |
| ◎ ワレモコウ | <i>Sanguisorba officinalis</i> |
| ◎ ナナカマド | <i>Sorbus commixta</i> |
| ウラジロノキ | <i>Sorbus japonica</i> |
| マメ科 | ……Leguminosae |
| クサネム | <i>Aeschynomene indica</i> |
| ネムノキ | <i>Albizia julibrissin</i> |
| ヤブマメ | <i>Amphicarpaea edgeworthii var. japonica</i> |
| イタチハギ | <i>Amorpha fruticosa</i> |
| ゲンゲ | <i>Astragalus sinicus</i> |
| カワラケツメイ | <i>Cassia nomame</i> |
| ●タヌキマメ | <i>Crotalaria sessiliflora</i> |
| ヌスビトハギ | <i>Desmodium oxphyllum</i> |
| マルバヌスビトハギ | <i>Desmodium podocarpum</i> |
| ノアズキ | <i>Dunbaria villosa</i> |
| ツルマメ | <i>Glycine soja</i> |
| コマツナギ | <i>Indigofera pseudo-tinctoria</i> |
| ヤハズソウ | <i>Kummerowia striata</i> |
| ヤマハギ | <i>Lespedeza bicolor f. acutifolia</i> |
| ◎ キハギ | <i>Lespedeza buergeri</i> |
| メドハギ | <i>Lespedeza cuneata</i> |
| マルバハギ | <i>Lespedeza cyrtobotrya</i> |

- | | |
|-------------|---|
| ◎ ツクシハギ | <i>Lespedeza homoloba</i> |
| ネコハギ | <i>Lespedeza pilosa</i> |
| ◎ ミヤギノハギ | <i>Lespedeza thunbergii</i> |
| マキエハギ | <i>Lespedeza virgata</i> |
| ◎ ニシキハギ | <i>Lespedeza japonica</i> var. <i>japonica</i> f. <i>angustifolia</i> |
| ミヤコグサ | <i>Lotus corniculatus</i> var. <i>japonicus</i> |
| ナツフジ | <i>Millettia japonica</i> |
| クズ | <i>Pueraria lobata</i> |
| オオバタンキリマメ | <i>Rhynchosia acuminatifolia</i> |
| タンキリマメ | <i>Rhynchosia volubilis</i> |
| ハリエンジュ | <i>Robinia pseudo-acacia</i> |
| クララ | <i>Sophora flavescens</i> var. <i>angustifolia</i> |
| コメツブツメクサ | <i>Trifolium dubium</i> |
| ムラサキツメクサ | <i>Trifolium pratense</i> |
| シロツメクサ | <i>Trifolium repens</i> |
| ヤハズエンドウ | <i>Vicia angustifolia</i> |
| ホソバヤハズエンドウ | <i>Vicia angustifolia</i> var. <i>minor</i> |
| スズメノエンドウ | <i>Vicia hirsuta</i> |
| カラスノエンドウ | <i>Vicia sepium</i> |
| カスマグサ | <i>Vicia tetrasperma</i> |
| ヤマフジ | <i>Wisteria brachybotrys</i> |
| フジ | <i>Wisteria floribunda</i> |
| フウロソウ科 | ……Geraniaceae |
| アメリカフウロ | <i>Geranium carolinianum</i> |
| ◎ ゲンノショウコ | <i>Geranium thunbergii</i> |
| ◎● ビッチュウフウロ | <i>Geranium yoshinoi</i> |
| カタバミ科 | ……Oxalidaceae |
| カタバミ | <i>Oxalis corniculata</i> |
| アカカタバミ | <i>Oxalis corniculata</i> f. <i>rubrifolia</i> |
| ムラサキカタバミ | <i>Oxalis corymbosa</i> |
| ミカン科 | ……Rutaceae |
| カラスザンショウ | <i>Zanthoxylum ailanthoides</i> |
| サンショウ | <i>Zanthoxylum piperitum</i> |
| イヌザンショウ | <i>Zanthoxylum schinifolium</i> |
| ● ミヤマシキミ | <i>Skimmia japonica</i> |
| ◎ カラタチ | <i>Poncirus trifoliata</i> |
| センダン科 | ……Meliaceae |
| ◎ センダン | <i>Melia azedarach</i> |
| トウダイグサ科 | ……Euphorbiaceae |
| アカメガシワ | <i>Mallotus japonicus</i> |
| エノキグサ | <i>Acalypha australis</i> |
| オオニシキソウ | <i>Euphorbia maculata</i> |
| コニシキソウ | <i>Euphorbia supina</i> |
| アワゴケ科 | ……Callitrichaceae |
| ミズハコベ | <i>Elatine triandra</i> |
| ウルシ科 | ……Anacardiaceae |
| ヌルデ | <i>Rhus javanica</i> |
| ◎ ハゼ | <i>Rhus verniciflua</i> |
| ヤマハゼ | <i>Rhus sylvestris</i> |
| ヤマウルシ | <i>Rhus trichocarpa</i> |

- | | |
|------------|---|
| モチノキ科 | ……Aquifoliaceae |
| ナナミノキ | <i>Ilex chinensis</i> |
| イヌツゲ | <i>Ilex crenata</i> |
| ◎ タラヨウ | <i>Ilex latifolia</i> |
| アオハダ | <i>Ilex macropoda</i> |
| ソヨゴ | <i>Ilex pedunculosa</i> |
| ◎ ウメモドキ | <i>Ilex serrata</i> |
| ニシキギ科 | ……Celastraceae |
| ◎ ニシキギ | <i>Euonymus alatus</i> |
| コマユミ | <i>Euonymus alatus</i> f. <i>ciliato-dentatus</i> |
| ◎ マユミ | <i>Euonymus sieboldianus</i> |
| ミツバウツギ科 | ……Staphyleaceae |
| ◎ ミツバウツギ | <i>Staphylea bumalda</i> |
| カエデ科 | ……Aceraceae |
| ウリカエデ | <i>Acer crataegifolium</i> |
| ◎ イロハモミジ | <i>Acer palmatum</i> |
| ツリフネソウ科 | ……Balsaminaceae |
| ◎ ツリフネソウ | <i>Impatiens textori</i> |
| クロウメモドキ科 | ……Rhamnaceae |
| クマヤナギ | <i>Berchemia racemosa</i> |
| イソノキ | <i>Rhamnus crenata</i> |
| ブドウ科 | ……Vitaceae |
| ノブドウ | <i>Ampelopsis brevipedunculata</i> |
| ヤブガラシ | <i>Cayratia japonica</i> |
| ツタ | <i>Parthenocissus tricuspidata</i> |
| エビヅル | <i>Vitis ficifolia</i> |
| アマヅル | <i>Vitis saccharifera</i> |
| アオギリ科 | ……Sterculiaceae |
| アオギリ | <i>Firmiana simplex</i> |
| ツバキ科 | ……Theaceae |
| ヤブツバキ | <i>Camellia japonica</i> |
| ◎ サザンカ | <i>Camellia sasanqua</i> |
| ヒサカキ | <i>Eurya japonica</i> |
| オトギリソウ科 | ……Guttiferae |
| オトギリソウ | <i>Hypericum erectum</i> |
| コケオトギリ | <i>Hypericum laxum</i> |
| ◎ キンシバイ | <i>Hypericum patulum</i> |
| ● ミズオトギリ | <i>Triadenum japonicum</i> |
| スミレ科 | ……Violaceae |
| アリアケスミレ | <i>Viola betonicifolia</i> var. <i>albescens</i> |
| タチツボスミレ | <i>Viola grypoceras</i> |
| スミレ | <i>Viola mandshurica</i> |
| ニオイタチツボスミレ | <i>Viola obtusa</i> |
| ナガバタチツボスミレ | <i>Viola ovato-oblonga</i> |
| ツボスミレ | <i>Viola verecunda</i> |
| シハイスミレ | <i>Viola violacea</i> |
| ノジスミレ | <i>Viola yedoensis</i> |

- キブシ科
キブシ
- ……Stachyuraceae
Stachyurus praecox
- ジンチョウゲ科
コガンピ
◎ ミツマタ
- ……Thymelaeaceae
Wikstroemia ganpi
Edgeworthia chrysantha
- グミ科
◎ ナワシログミ
◎ アキグミ
● ナツアサドリ
- ……Elaeagnaceae
Elaeagnus pungens
Elaeagnus umbellata
Elaeagnus yoshinoi
- ミソハギ科
ヒメミソハギ
ミソハギ
キカシグサ
- ……Lythraceae
Ammannia multiflora
Lythrum anceps
Rotala indica
- アカバナ科
アカバナ
ヒレタゴボウ
チョウジタデ
ミズユキノシタ
メマツヨイグサ
オオマツヨイグサ
ヒルザキツキミソウ
ヒシ
- ……Onagraceae
Epilobium pyrriholophum
Ludwigia decurrens
Ludwigia epilobioides
Ludwigia ovalis
Oenothera biennis
Oenothera erythrosepala
Oenothera speciosa
Trapa japonica
- アリノトウグサ科
アリノトウグサ
◎ オグラノフサモ
◎ ホザキノフサモ
- ……Haloragidaceae
Haloragis micrantha
Myriophyllum oguraense
Myriophyllum spicatum
- ウコギ科
コシアブラ
タラノキ
カクレミノ
タカノツメ
キツタ
ハリギリ
- ……Araliaceae
Acanthopanax sciadophylloides
Aralia elata
Dendropanax trifidus
Evodiopanax innovans
Hedera rhombea
Kalopanax pictus
- セリ科
ノチドメ
オオチドメ
チドメグサ
セリ
ヤブジラミ
オヤブジラミ
- ……Umbelliferae
Hydrocotyle maritima
Hydrocotyle ramiflora
Hydrocotyle sibthorpioides
Oenanthe javanica
Torilis japonica
Torilis scabra
- ミズキ科
◎ アオキ
◎ クマノミズキ
◎ ヤマボウシ
◎ ハナイカダ
- ……Cornaceae
Aucuba japonica
Cornus brachypoda
Cornus kousa
Helwingia japonica
- 合弁花亜綱
- GAMOPETALAE
- リョウブ科
リョウブ
- ……Clethraceae
Clethra barbinervis

イチヤクソウ科 イチヤクソウ	……Pyrolaceae <i>Pyrola japonica</i>
ツツジ科 ネジキ	……Ericaceae <i>Lyonia ovalifolia</i> var. <i>elliptica</i>
◎ ツリガネツツジ	<i>Menziesia multiflora</i> f. <i>brevicalyx</i>
アセビ	<i>Pieris japonica</i>
◎ サツキツツジ	<i>Rhododendron indicum</i>
◎ レンゲツツジ	<i>Rhododendron japonicum</i>
ヤマツツジ	<i>Rhododendron kaempferi</i>
モチツツジ	<i>Rhododendron macrosepalum</i>
コバノミツバツツジ	<i>Rhododendron reticulatum</i>
シャシャンボ	<i>Vaccinium bracteatum</i>
ウスノキ	<i>Vaccinium hirtum</i>
ナツハゼ	<i>Vaccinium oldhamii</i>
スノキ	<i>Vaccinium smallii</i> var. <i>glabrum</i>
ヤブコウジ科 ヤブコウジ マンリョウ	……Myrsinaceae <i>Ardisia japonica</i> <i>Ardisia crenata</i>
サクラソウ科 オカトラノオ ヌマトラノオ コナスビ	……Primulaceae <i>Lysimachia clethroides</i> <i>Lysimachia fortunei</i> <i>Lysimachia japonica</i>
◎ クサレダマ	<i>Lysimachia vulgaris</i> var. <i>davurica</i>
◎ クリンソウ	<i>Primula japonica</i>
◎● サクラソウ	<i>Primula sieboldii</i>
カキノキ科 カキノキ	……Ebenaceae <i>Diospyros kaki</i>
エゴノキ科 エゴノキ	……Styracaceae <i>Styrax japonica</i>
モクセイ科 マルバアオダモ ネズミモチ	……Oleaceae <i>Fraxinus sieboldiana</i> <i>Ligustrum japonicum</i>
◎ トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i>
イボタノキ	<i>Ligustrum obtusifolium</i>
キンモクセイ	<i>Ligustrum aurantiacus</i> var. <i>aurantiacus</i>
ヒイラギ	<i>Osmanthus heterophyllus</i>
リンドウ科 リンドウ	……Gentianaceae <i>Gentiana scabra</i> var. <i>buergeri</i>
◎● ミツガシワ	<i>Menyanthes trifoliata</i>
◎● ガガブタ	<i>Nymphoides indica</i>
センブリ	<i>Swertia japonica</i>
● ムラサキセンブリ	<i>Swertia pseudochinensis</i>
ツルリンドウ	<i>Tripterospermum japonicum</i>
キョウチクトウ科 テイカカズラ	……Apocynaceae <i>Trachelospermum asiaticum</i> var. <i>intermedium</i>
ガガイモ科 スズサイコ オオカモメヅル	……Asclepidaceae <i>Cynanchum paniculatum</i> <i>Tylophora aristolochioides</i>

- | | |
|--------------|---|
| ヒルガオ科 | ……Convolvulaceae |
| ヒルガオ | <i>Calystegia hederacea</i> |
| コヒルガオ | <i>Calystegia hederacea</i> |
| アメリカネナシカズラ | <i>Cuscuta pentagona</i> |
| ムラサキ科 | ……Boraginaceae |
| ハナイバナ | <i>Bothriospermum tenellum</i> |
| ◎ ホタルカズラ | <i>Buglossoides zollingeri</i> |
| ◎ ヤマルリソウ | <i>Omphalodes japonica</i> |
| ミズタバコ | <i>Trigonotis brevipes</i> |
| タバコ (キュウリグサ) | <i>Trigonotis peduncularis</i> |
| クマツヅラ科 | ……Verbenaceae |
| ◎ コムラサキ | <i>Callicarpa dichotoma</i> |
| ヤブムラサキ | <i>Callicarpa mollis</i> |
| クサギ | <i>Clerodendron trichotomum</i> |
| シソ科 | ……Labiatae |
| キランソウ | <i>Ajuga decumbens</i> |
| ◎ ツルジュウニヒトエ | <i>Ajuga reptans</i> |
| トウバナ | <i>Clinopodium gracile</i> |
| クマバナ | <i>Clinopodium chinense</i> var. <i>parviflorum</i> |
| カキドオシ | <i>Glechoma hederacea</i> var. <i>grandis</i> |
| ホトケノザ | <i>Lamium amplexicaule</i> |
| ヒメオドリコソウ | <i>Lamium purpureum</i> |
| ◎ ヒメシロネ | <i>Lycopus maackianus</i> |
| ヒメジソ | <i>Molsa dianthera</i> |
| ヤマハッカ | <i>Plectranthus inflexus</i> |
| ウツボグサ | <i>Prunella vulgaris</i> var. <i>lilacina</i> |
| アキノタムラソウ | <i>Salvia japonica</i> |
| タツナミソウ | <i>Scutellaria indica</i> |
| ナス科 | ……Solanaceae |
| アメリカイヌホオズキ | <i>Solanum americanum</i> |
| ヒョドリジョウゴ | <i>Solanum lyratum</i> |
| イヌホオズキ | <i>Solanum nigrum</i> |
| ゴマノハグサ科 | ……Scrophulariaceae |
| キクモ | <i>Limnophila sessiliflora</i> |
| マツバウンラン | <i>Linaria canadensis</i> |
| スズメノトウガラシ | <i>Lindernia antipoda</i> |
| アメリカアゼナ | <i>Lindernia dubia</i> spp. <i>major</i> |
| トキワハゼ | <i>Mazus pumilus</i> |
| ムラサキサギゴケ | <i>Mazus miquelii</i> |
| クチナシグサ | <i>Monochasma japonicum</i> |
| コシオガマ | <i>Phtheirospermum japonicum</i> |
| アゼトウガラシ | <i>Vandellia angustifolia</i> |
| ウリクサ | <i>Vandellia crustacea</i> |
| タチイヌノフグリ | <i>Veronica arvensis</i> |
| イヌノフグリ | <i>Veronica didyma</i> var. <i>lilacina</i> |
| ムシクサ | <i>Veronica peregrina</i> |
| オオイヌノフグリ | <i>Veronica persica</i> |
| ハマウツボ科 | ……Orobanchaceae |
| ◎●ナンバンギセル | <i>Aeginetia indica</i> var. <i>gracilis</i> |
| イワタバコ科 | ……Gesneriaceae |
| ◎ イワタバコ | <i>Conandron ramondioides</i> |

- | | |
|--------------|--|
| タヌキモ科 | ……Lentibulariaceae |
| ノタヌキモ | <i>Utricularia aurea</i> |
| ミミカキグサ | <i>Utricularia bifida</i> |
| ホザキノミミカキグサ | <i>Utricularia caerulea</i> |
| イヌタヌキモ | <i>Utricularia vulgaris</i> var. <i>japonica</i> f. <i>tenuicaulis</i> |
| ◎●ムラサキミミカキグサ | <i>Utricularis uliginosa</i> |
| キツネノマゴ科 | ……Acanthaceae |
| キツネノマゴ | <i>Justicia procumbens</i> var. <i>leucantha</i> |
| オオバコ科 | ……Plantaginaceae |
| オオバコ | <i>Plantago asiatica</i> |
| ツボミオオバコ | <i>Plantago virginica</i> |
| アカネ科 | ……Rubiaceae |
| キクムグラ | <i>Galium kikumugura</i> |
| ヤエムグラ | <i>Galium spurium</i> var. <i>echinospermon</i> |
| カワラマツバ | <i>Galium verum</i> var. <i>asiaticum</i> f. <i>nikkoense</i> |
| ヘクソカズラ | <i>Paederia scandens</i> var. <i>mairei</i> |
| ◎ クチナシ | <i>Gardenia jasminoides</i> f. <i>grandiflora</i> |
| スイカズラ科 | ……Caprifoliaceae |
| ツクバネウツギ | <i>Abelia spathulata</i> |
| ヤマウゲイスカグラ | <i>Lonicera gracilipes</i> |
| ウゲイスカグラ | <i>Lonicera gracilipes</i> var. <i>glabra</i> |
| スイカズラ | <i>Lonicera japonica</i> |
| ◎ ニワトコ | <i>Sambucus sieboldiana</i> |
| ◎ ガマズミ | <i>Viburnum dilatatum</i> |
| コバノガマズミ | <i>Viburnum erosum</i> |
| ◎ ゴマキ | <i>Viburnum sieboldii</i> |
| ミヤマガマズミ | <i>Viburnum wrightii</i> |
| ◎ ハコネウツギ | <i>Weigela coraeensis</i> |
| ◎ タニウツギ | <i>Weigela hortensis</i> |
| オミナエシ科 | ……Valerianaceae |
| オミナエシ | <i>Patrinia scabiosaefolia</i> |
| オトコエシ | <i>Patrinia villosa</i> |
| ウリ科 | ……Cucurbitaceae |
| カラスウリ | <i>Trichosanthes cucumeroides</i> |
| キカラスウリ | <i>Trichosanthes kirilowii</i> var. <i>japonica</i> |
| キキョウ科 | ……Campanulaceae |
| ◎●ヤチシャジン | <i>Adenophora palustris</i> |
| ツリガネニンジン | <i>Adenophora triphylla</i> var. <i>japonica</i> |
| ホタルブクロ | <i>Campanula punctata</i> |
| ミゾカクシ | <i>Lobelia chinensis</i> |
| サワギキョウ | <i>Lobelia sessilifolia</i> |
| キキョウ | <i>Platycodon grandiflorum</i> |
| キク科 | ……Compositae |
| キッコウハグマ | <i>Ainsliaea apiculata</i> |
| ブタクサ | <i>Ambrosia artemisiifolia</i> var. <i>elatior</i> |
| カワラヨモギ | <i>Artemisia capillaris</i> |
| オトコヨモギ | <i>Artemisia japonica</i> |
| イヌヨモギ | <i>Artemisia keiskeana</i> |
| ヨモギ | <i>Artemisia princeps</i> |
| シロヨメナ | <i>Aster ageratoides</i> var. <i>oligocephalus</i> |

- | | | |
|---|------------|--|
| | ノコンギク | <i>Aster ageratoides</i> var. <i>ovatus</i> |
| | イナカギク | <i>Aster ageratoides</i> var. <i>semiamplexicaulis</i> |
| | シラヤマギク | <i>Aster scaber</i> |
| | ヒロハホウキギク | <i>Aster subulatus</i> var. <i>sandwicensis</i> |
| | ホウキギク | <i>Aster subulatus</i> |
| | オケラ | <i>Atractylodes japonica</i> |
| | アメリカセンダングサ | <i>Bidens frondosa</i> |
| | ヤブタバコ | <i>Carpesium abrotanoides</i> |
| | サジガクビソウ | <i>Carpesium glossophyllum</i> |
| | トキンソウ | <i>Centipeda minima</i> |
| | リュウノウギク | <i>Chrysanthemum makinoi</i> |
| | ノアザミ | <i>Cirsium japonicum</i> |
| | マアザミ | <i>Cirsium sieboldii</i> |
| | ベニバナボロギク | <i>Crassocephalum crepidioides</i> |
| | タカサブロウ | <i>Eclipta prostrata</i> |
| | ダンドボロギク | <i>Erechtites hieracifolia</i> |
| | ヒメジョオン | <i>Erigeron annuus</i> |
| | ヒメムカシヨモギ | <i>Erigeron canadensis</i> |
| | ハルジオン | <i>Erigeron philadelphicus</i> |
| | オオアレチノギク | <i>Erigeron sumatrensis</i> |
| | ヒヨドリバナ | <i>Eupatorium chinense</i> var. <i>simplicifolium</i> |
| ◎ | フジバカマ | <i>Eupatorium fortunei</i> |
| | サワヒヨドリ | <i>Eupatorium lindleyanum</i> |
| ◎ | ツワブキ | <i>Farfugium japonicum</i> |
| | ハハコグサ | <i>Gnaphalium affine</i> |
| | チチコグサ | <i>Gnaphalium japonicum</i> |
| | チチコグサモドキ | <i>Gnaphalium pensylvanicum</i> |
| | ウスベニチチコグサ | <i>Gnaphalium purpureum</i> |
| | ウラジロチチコグサ | <i>Gnaphalium spicatum</i> |
| | キツネアザミ | <i>Hemistepta lyrata</i> |
| | ヤマジノギク | <i>Heteropappus hispidus</i> |
| ◎ | スイラン | <i>Hololeion krameri</i> |
| | ブタナ | <i>Hypochoeris radicata</i> |
| | オオヂシバリ | <i>Ixeris debilis</i> |
| | ニガナ | <i>Ixeris dentata</i> |
| | オオバナニガナ | <i>Ixeris dentata</i> f. <i>amplifolia</i> |
| | イワニガナ | <i>Ixeris stolonifera</i> |
| | ノニガナ | <i>Ixeris polycephala</i> |
| | オオユウガギク | <i>Kalimeris incisa</i> var. <i>robusta</i> |
| | ヨメナ | <i>Kalimeris yomena</i> |
| | アキノノゲシ | <i>Lactuca indica</i> var. <i>laciniata</i> |
| | ムラサキニガナ | <i>Lactuca sororia</i> |
| | コオニタビラコ | <i>Lapsana apogonoides</i> |
| | センボンヤリ | <i>Leibnitzia anandria</i> |
| | フキ | <i>Petasites japonica</i> |
| | コウヤボウキ | <i>Pertya scandens</i> |
| | コウゾリナ | <i>Picris hieracioides</i> var. <i>glabrescens</i> |
| | サワオグルマ | <i>Senecio pierotii</i> |
| | ノボロギク | <i>Senecio vulgaris</i> |
| ◎ | タムラソウ | <i>Serratula coronata</i> var. <i>insularis</i> |
| | セイタカアワダチソウ | <i>Solidago altissima</i> |
| | アキノキリンソウ | <i>Solidago virga-aurea</i> var. <i>asiatica</i> |
| | オニノゲシ | <i>Sonchus asper</i> |
| | ノゲシ | <i>Sonchus oleraceus</i> |
| ◎ | シロバナタンポポ | <i>Taraxacum albidum</i> |
| | カンサイタンポポ | <i>Taraxacum japonicum</i> |
| | セイヨウタンポポ | <i>Taraxacum officinale</i> |
| | ヤクシソウ | <i>Youngia denticulata</i> |
| | オニタビラコ | <i>Youngia japonica</i> |